

単元名：ぼくのわたしのプロフェッショナルとは
「プロフェッショナルたち」

指導者 渡邊 圭

単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領国語科第5学年及び第6学年「C読むこと」の指導事項「オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。」の内容を受けて設定したものである。また、本単元では、学習指導要領の「C 読むこと」の言語活動例(2)「ア 伝記を読み、自分の生き方について考えること。」を受けて、仕事をする上での「プロフェッショナル」に対する自分の考えをまとめ、交流することを言語活動として位置付ける。

本教材には3人の「プロフェッショナルたち」が登場する。それぞれその人物の実体験や思いを語り手が述べている部分と、人物自身が述べる「プロフェッショナルとは」というまとめの部分によって構成されている。また話題提示である導入部分では、「プロフェッショナルたちの姿を通して、仕事のおく深さ、働くことのだいご味を考えてみたい。」という読み手への呼びかけから始まる。しかし本教材の中では、それらに対する答えが書かれていない。そこで、単元を通して「プロフェッショナル」としての生き方を読み取らせながら、仕事や働くことについて自分の考えを広げたり深めたりさせたい。

まもなく中学校へ進学する第6学年の児童にとって、自分の将来について考えることは、非常に関心の高いテーマである。そのため本教材を通して、自分の将来の仕事や生き方について考えていく機会としたい。児童はこれまでに、国語科の説明文単元である「町の幸福論ーコミュニティデザインを考える」や総合的な学習の時間の「海田東小発未来をえがく～『海田東小サミット』を開こう～」において、よりよい街づくりのために多面的な視点から提案内容を考えたり、調べた情報を互いに関連付けたりしながら活用するという学習を行ってきた。本単元では、自分の将来の夢や生き方についての考えと調べた情報を関連付けながら整理させ、友だちと交流することを通して、多面的なものの見方に気付き、自分の考えを広げたり深めたりしていくことをねらいとしている。

- 平成28年度全国学力・学習状況調査児童質問紙「友だちの前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか」の質問では、本学級の50%の児童が自分の考えを発表することに難しさを感じているという結果が見えた。また、学級で行ったアンケートの結果、約10%の児童が「話し合うことで自分の考えが深まることがある」という質問に対し否定的な回答をしている。自分の考えと他者の考えを関連付けながら考える力が不十分であるため、双方向の意見交流となりにくく、特に友だちとの考えの交流を通して自分の考えを深めることが難しい実態がある。さらに、自分の考えが広がったり深まったりすることを実感し、自分の考えの変容を客観的に捉えることができているとする児童も学級の約10%いることが分かる。

発表の前に個別に声をかけたり、発表した際に肯定的な声掛けを繰り返すことを通して、10月に学級で同様の質問を行った追跡調査の結果では、学級の約16%が自分の考えを発表することに難しさを感じている現状が見えた。また、「話し合うことで自分の考えが深まることがある」という質問では、前回と同様に学級の約10%が否定的な回答をした。これらのことから、本学級では、友だちと考えを交流する中で自分の考えを深めることが難しい実態が見えた。

○課題を発見・解決する力

児童には、プロフェッショナルたちの人物像や生き方に興味をもたせ、仕事の奥深さや働くことの醍醐味、つまり仕事や働くことの「魅力」を感じさせたい。そのため、単元の導入で、プロフェッショナルたちの人物像や生き方について交流し、学習への興味をもたせる。また、テレビ番組「NHK プロフェッショナル仕事の流儀」などを紹介し、学習への意欲を喚起させる。「プロフェッショナルとは何か」という問いを児童に常に考えさせ、自分の将来なりたい仕事について探究的に情報を収集させる。この学習を通して、将来の自分を見つめ、実現のために必要な技術的なことや気持ちの面で大切なことの意義を伝え、学習に必要感をもたせる。

児童の中には、自分の将来なりたい仕事は明確である児童もいればそうではない児童もいる。そういった実態の中で、お互いに興味のある仕事について交流していくことで、自分の将来の夢や生き方の幅を広げたり、より深く考えたりできるようにさせたい。

○深く考える力

本単元で育成したい思考の力は、3人のプロフェッショナルたちの仕事を読み取り、比較して考える力と、自分の将来の夢と関連した本や資料を読み、収集した情報を構造化し、「プロフェッショナル」に対する自分の考えを深める力である。

本単元では、ジグソー学習を用いて教科書に取り上げられている3人のプロフェッショナルたちの仕事について整理する。まず、エキスパート活動ではそれぞれのグループが①海獣医師、②板金職人、③パティシエのプロフェッショナルたちの仕事の内容、困難な出来事やその時のプロフェッショナルたちの行動について読み取ったことをまとめる。次に、ジグソー活動では①海獣医師、②板金職人、③パティシエのプロフェッショナルの担当一人ずつでグループを構成し、プロフェッショナルたちの仕事に対する考え、「プロフェッショナルとは何か」について考える。そして、3人のプロフェッショナルたちが考える仕事に対する考えを比較させ、共通点を整理させる。「仕事の奥深さ」や「働くことの醍醐味」について自分の考えをもたせた上で、自分の将来の夢と関連付けながら考えさせる。さらにそれらを生かして自分のなりたい職業についても情報収集し、読み取ったことを仕事の内容や仕事の難しさ、プロフェッショナルたちの仕事に対する考えの3点で整理し直した上で、「仕事の奥深さ」や「働くことの醍醐味」についての考えを深める。

○自己を理解する力

本単元では海獣医師や板金職人、パティシエといった教材文に登場するプロフェッショナルたちから共通点を見付け、「仕事の奥深さ」や「働くことの醍醐味」について思考させる。そして単元を通して「プロフェッショナルとは何か」という問いについて考えさせる。また、「プロフェッショナルとは何か」に対する自分の考えを友だちと交流することで、自分の考えが広がったり深まったりしたことを実感させる。さらに交流後に学習を振り返ることで、教材文を読む前の「プロフェッショナルとは何か」という自分の考えが学習を通してどのように変容したのかをとらえさせる。そして、学びのモニタリングの時間では、学習を振り返ることで自分の将来の夢や生き方についての考えが広がったり、深まったりしたことに気付かせ、新たに将来の自分の夢や生き方について考えをもたせることができるようにしたい。

単元の目標及び内容について

- 自分の将来の夢の実現に向けて仕事の内容や魅力、実現させるために大切なことを明らかにするために進んで様々な本を読もうとする。 【関心・意欲・態度】
- プロフェッショナルたちの仕事について、本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりする。 【読むこと オ】
- 文章の内容や筆者の主張、述べ方などについて理解する。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ（キ）】

単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
【言語活動】 「プロフェッショナル」について調べたことを基に、自分の将来の夢や生き方についての考えを広げたり深めたりする。		
自分の将来の夢の実現に向けて仕事の内容や魅力、実現させるために大切なことを明らかにするために進んで様々な本を読もうとしている。	プロフェッショナルたちの仕事について、本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。	文章の内容や筆者の主張、述べ方などについて理解している。

指導と評価の計画

全 11 時間

次	時	学習内容	評 価				
			関	読	言	評価規準	評価方法
一	1	課題の設定（２） ○教材文「プロフェッショナルたち」を読んで、ゴールの見通しをもつ。 ・プロフェッショナルとはどういう人のことを指すのか考えをまとめ、交流する。 ・本文を通読して初発の感想を交流し、学習のゴールを、自分の将来の夢や生き方についての考えを広げたり深めたりすることとして定める。	○			・プロフェッショナルたちの仕事について関心を持ち、学習のゴールについて考えようとしている。	ノート 行動観察
	2	○単元で付きたい力について考え、学習計画を立てる。	○			・自分の将来の夢を明らかにするために付きたい力や学習計画について考えようとしている。	ノート 行動観察
二	3 4	情報の収集（４） ○「仕事の奥深さ」や「働くことの醍醐味」について自分の考えをまとめるために、ジグソー学習（1 海獣医師，2 板金職人，3 パティシエ）を用いて3人のプロフェッショナルたちの仕事について読み取り，整理する。② ・プロフェッショナルたちの仕事の内容 ・困難な出来事に出会った時のプロフェッショナルたちの行動 ・プロフェッショナルたちの仕事に対する考え		○		・プロフェッショナルたちの仕事に対する考えから、プロフェッショナルについて自分の考えている。	ノート 行動観察
	5	○3人のプロフェッショナルたちの仕事から、プロフェッショナルとしての技や信念である「仕事の奥深さ」や「働くことの醍醐味」について、Yチャートを用いて比較して考え，交流する。 ・3人のプロフェッショナルたちの仕事に対する考え等から共通点を整理し、「仕事の奥深さ」や「働くことの醍醐味」について自分の考えをまとめる。 【本時】		○		・3人のプロフェッショナルたちの仕事に対する考えを比較し、「仕事の奥深さ」や「働くことの醍醐味」についての自分の考えをもっている。	ノート 行動観察
	6	○自分の就きたい仕事について調べ，将来の夢や生き方について考える。 ・自分の将来の夢と本や新聞記事などの資料を通して，自分が将来就きたい仕事についての情報を収集する。 「仕事の内容」「仕事の難しさ」 「プロフェッショナルたちの仕事に対する考え」		○		・仕事の内容や魅力，将来の夢の実現のために大切なことを進んで収集しようとしている。	ノート 行動観察

職業に関する本の並行読書・インタビュー

次	時	学習内容	評価				
			関	読	言	評価規準	評価方法
三	7 ～ 8	整理・分析（２） ○自分が就きたい仕事のプロフェッショナルたちの仕事に対する考えについて集めた情報を整理し、将来の夢や生き方についての自分の考えをまとめる。 「仕事の内容」「仕事の難しさ」 「プロフェッショナルたちの仕事に対する考え」		○		・プロフェッショナルに対する考えを広げている。	ノート 行動観察
四	9	まとめ・創造・表現（１） ○将来の夢や生き方についての考えを交流し合い、自分の考えを広げる。 ・感想を伝え合うことで、自分の将来の夢や生き方についての考えを広げたり深めたりする。		○	○	・プロフェッショナルに対する考えをまとめている。 ・文章の内容や筆者の主張、述べ方などについて理解している。	ノート 行動観察
	10	振り返り（２） ○考えを交流して気付いたことや、学習全体を通して自分の将来の夢や生き方について考えたことをまとめ、交流する。 ・自分の将来の夢や生き方について考えを広げたり深めたりする。		○		・プロフェッショナルに対する考えに対する、自分の考えを広げたり深めたりしている。	ノート 行動観察
五	11	学びのモニタリング ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・単元の初めに立てた「学びのモニタリング」の視点で、自分の考えを基に自らの学びを振り返る。		○		・プロフェッショナルに対する自分の考えを交流し、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・自分のものの見方や考え方の変容や自らの学びや学び方を振り返っている。	ノート 行動観察

本時の学習

(1) 本時の目標

- 3人のプロフェッショナルたちの仕事に対する考えを比較することを通して、「仕事の奥深さ」や「働くことの醍醐味」について自分の考えをもつことができる。

(2) 本時の評価規準

- 3人のプロフェッショナルたちの仕事に対する考えを比較し、「仕事の奥深さ」や「働くことの醍醐味」についての自分の考えをもっている。 【読む能力】

(3) 本時の学習展開（5時間目／全11時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 （評価方法） ◎本時で付けたい力 ☆育成したい資質・能力
1 本時の学習課題を確認する。 めあて	◇単元の初めに書いたプロフェッショナルに対する自分の考えを振り返る。	
3人のプロフェッショナルたちの仕事を比べて、「仕事の奥深さ」や「働くことの醍醐味」についての自分の考えをもとう。		
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">本時のゴールの見通し</p> <p>A：「仕事の奥深さ」や「働くことの醍醐味」について自分の考えを広げている。</p> <p>B：「仕事の奥深さ」や「働くことの醍醐味」について考えている。</p> </div>		
2 2人のプロフェッショナルたちの仕事を比べ、共通点を考える。 （個人思考） ○前時までにまとめたプロフェッショナルたちの生き方のうち、海獣医師の勝俣悦子さんと板金職人の国村次郎さんの仕事に対する考えを比べて、共通点はどこでしょうか。 ・海獣医師の勝俣さんの仕事の内容：治療や出産・繁殖の研究 ・板金職人の国村さんの仕事の内容：全て手作業，ハンマーを使って新幹線車両の部品作り ・二つの職業は仕事の内容が違う。 ・海獣医師の勝俣さんは、分からない中で一生懸命治療したシャチのカレンが死に、すぐにセイウチのムックも感染症にかかり命の危険に冒された。 →失敗しても何度も注射 ・板金職人の国村さんは、仕事が少ない中でようやく手に入れた仕事だったが普段している仕事とは違う。 →依頼は全てうける。 →試行錯誤を繰り返し挑戦し続ける。 ・二人に共通することは試行錯誤を繰り返し、あきらめないことではないか。 ○他の二人の仕事に対する共通点はどこでしょうか。	◇2人のプロフェッショナルたちの共通点を具体的に比較させることを通して、いずれも困難を克服することでプロフェッショナルとして認められていくことに気付かせる。 ◇仕事の内容が異なってもプロフェッショナルたちの仕事に対する考えに共通するものがあることに気付かせる。 ◆プロフェッショナルたちの仕事に対する考えに注目するように声掛けを行い、本文に線を引かせる。	

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p> <p>☆育成したい資質・能力</p>
<p>・板金職人の国村さんとパティシエの杉野さんに共通することは困難にぶつかっても努力し続けることだと思う。</p> <p>・海獣医師の勝俣さんとパティシエの杉野さんに共通することは挑戦し続けることだと思う。</p> <p>3 3人のプロフェッショナルたちの仕事を比べ、共通点を考える。</p> <p>○3人の仕事の共通点はどこでしょうか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>□思考の場の工夫 比較する</p> <p>3人のプロフェッショナルたちの共通点を整理させながら考えをまとめさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3人ともプロフェッショナルとしての思いには共通することがあるように感じる。 ・3人ともプロフェッショナルとしての信念のようなものを感じた。 ・3人のプロフェッショナルたちを比べて、どの仕事も困難なことがあるが、努力や挑戦をとして克服している。 </div> <p>4 本時の学習のまとめを行う。</p>	<p>◇3人のプロフェッショナルたちの共通点を整理させる。</p> <p>◇3人のプロフェッショナルたちの共通点を比較させることで気づきの一般化を図る。</p> <p>◆3人のプロフェッショナルたちの仕事に対する考えにどのような共通点があったか考えさせる。</p> <p>◆友だちの意見に類似した点があったかどうか考えながら話し合わせる。</p> <p>◇3人のプロフェッショナルたちの共通点から自分の考える「仕事の奥深さ」や「働くことの醍醐味」を考えさせる。</p>	<p>☆3人のプロフェッショナルたちの仕事を比較し、共通点を考えている。</p> <p>◎3人のプロフェッショナルたちの仕事に対する考えを比較し、「仕事の奥深さ」や「働くことの醍醐味」についての自分の考えを広げている。〔読む能力〕(ノート・行動観察)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>★めざす児童の姿 (①単元の始めの自分の考えと比較しながら書いている。②3人のプロフェッショナルたちの共通点を踏まえて書いている。①②の両方を満たせばA, ②のみであればB)</p> <p>私は単元の最初に「プロフェッショナル」とは技術が高い人や練習をたくさん重ねている人と思っていた。しかし3人のプロフェッショナルたちの仕事を通して、「仕事の奥深さ」や「働くことの醍醐味」とは、仕事に対する誇りや困難に出会っても諦めず努力し、それを乗り越えた先にあるやりがいや楽しさであることに気がきました。「プロフェッショナル」にはこのような「仕事の奥深さ」や「働くことの醍醐味」も必要であることが分かった。</p> </div>		

(4) 板書計画

ぼくのわたしのプロフェッショナルとは
「プロフェッショナルたち」

A 「仕事のおく深さ」「働くことのだいご味」
↓
考えを広げる。
B 「仕事のおく深さ」「働くことのだいご味」
↓
自分の考えをもつ。

めあて
3人のプロフェッショナルたちの仕事を比べて、「仕事のおく深さ」や「働くことのだいご味」についての自分の考えをもとう。

【海獣医師】

- 仕事の内容
 - 治療 出産
 - 繁殖の研究
- 困難 ↓ 行動
 - カレンの死
 - ムック感染症
- ↓ せめなければ道は開けない
- ↓ 何度も何度も注射
- ↓ やるしかない覚悟
- 仕事に対する考え
 - 海草 根っこ
 - 動物にとつて何が大切な
 - ゆるぎないもの

【板金職人】

- 仕事の内容
 - 新幹線車両の部品作り
 - ハンマー 手作業
- 困難 ↓ 行動
 - 仕事が少ない ↓ 歯を食いしばって ↓ できないと言つ言葉は出ささない
 - 新素材 ジェラルミン ↓ 試行錯誤 ↓ 最後まで
- 仕事に対する考え
 - 思考をなくし あきらめない
 - 技は磨けば必ず答え てくれる
 - 技は裏切らない

【からの挑戦】

- 仕事の内容
 - お菓子作り
 - 「他のどこにも無いお菓子」
- 困難 ↓ 行動
 - 修行でフランスへ ↓ 手紙 雑用ばかり ↓ 朝から晩までお菓子作り 思うような仕事が出来ない
 - 仕事に対する考え
 - 当たり前を繰り返すと特別になる
 - 自分の職業をひたすら極める
 - あきらめず自分を高める

まとめ 前 …「プロフェッショナル」とは

勉強前の自分と比べてみて

今日…「仕事のおく深さ」や「働くことのだいご味」についての考え

<参考> 学びのモニタリング

学びのモニタリング

海田東小 学びのモニタリング 六年 組

実現させます ぼくのわたしの夢ビジョン
「プロフェッショナルたち」

主体性・・・進んで取り組む力
自分の将来の夢を実現するために仕事の内容やみ力、実現させるために大切なことを進んで集めた。(A・B・C)

思考力・・・しっかり考える力
将来の夢と集めた情報を関連付けて考えた。(A・B・C)
プロフェッショナルたちの仕事の共通点を見つけるために比較しながら考えることができた。

自己理解・・・自分の考えの良さに気付く力
友だちとの交流を通して、自分の将来の夢や生き方について考えが広がったり深まったりしたことについて書きましよう。